

1. ごあいさつ

企業の事業活動はその基盤である地球の健康を保てる活動でなければいけません。そのことは京都議定書議決に代表されるように、ようやく人類が共有できる課題になってきました。

しかし、その課題を解決するためには、継続的な改善活動に加えてイノベーションが必要であると思っています。

■事業活動で起こすイノベーション

廃棄物処理分野において現在行われているリサイクルは、あるものを別のものにするリサイクル形態が主流となっています。しかし、本当に地球にやさしいリサイクルは、あるものを同じものにリサイクルすることです。弊社は電話帳や通信ケーブルにおいて、このクローズドループリサイクル技術の開発・採用を進めています。また、温暖化防止分野においては、成長するIP市場に対応する省エネルギー設備の開発等、さらなるイノベーションが必要です。

■ICTで起こすライフスタイルイノベーション

NTT西日本グループが提供するICTサービス(フレックスマグナムなど)は、様々なソリューションに応用され、環境負荷低減を実現しています。

たとえば、在宅勤務システム、TV会議システムを活用することにより、人の移動が不要になることで、環境負荷を低減することが可能となります。また、様々な購買活動や調査活動にもICTサービスを適用することで、人の移動に係わる環境負荷を低減することが可能です。弊社はこのようなソリューションを提供することで、ライフスタイルにイノベーションを起こし、環境負荷低減に貢献していきたいと考えております。

■イノベーションで地球と共生できる未来へ

NTT西日本グループは、今後も環境負荷低減につながるイノベーションを起こし、地球と共生できる未来を次の世代に残していきたいと思っています。



技術革新部 環境対策室長 三村 尚史

資材調達センターでは、循環型社会の実現に向け、通信用メタルケーブルの循環型リサイクルシステムを2002年に構築すると共に、Bフレックで使用されるONU等の端末物品の利活用を2004年に開始し、光プレミアム端末物品への拡大を図るなど、環境負荷低減に積極的に取り組んで参りました。この営みは、環境負荷を低減させるのみならず、物品の調達コストを大幅に低減させるなど経営改善に寄与して参りました。

また、撤去通信設備の最終廃棄量の低減については、プラスチック筐体部分のリサイクル、コンクリート電柱の路盤材への転用等により、年間排出量約12万tを0.02万tに低減させるなど2010年の目標値0.5万tをクリアすることができました。

現在、光・IP化の進展に伴い、電力消費量が急激に拡大してきており、地球温暖化の防止に貢献することが喫緊の課題と考えています。

そのため、調達仕様書に最大消費電力を規定するなど、省電力化を実現させるため、最大限の努力をしていく所存です。



ネットワーク部 資材センター所長 古賀 順二

ICTサービスの拡大により社会全体の環境負荷低減に貢献するだけでなく、事業活動に伴うエネルギー消費量を抑制し温室効果ガス排出の削減を図るためグループ会社と連携しTPR(トータルパワー改革)運動として省エネルギー活動に取り組んでいます。通信用設備においては、旧型設備の更改、低消費電力設備・高効率空調等の導入を推進するとともに、給電方式の直流化推進やビル毎の省エネ診断による各種施策等を実施しています。また、太陽光発電設備などクリーンエネルギーの導入、クールビズやPC省エネ設定等の施策を通じ省エネ意識の高揚も図ってきました。

今後、更なるIP化の進展・サービスの多様化にあわせ、NGNの導入における最適な設備構築はもとより、NTTグループ各社や協力会社とも連携した低消費電力化技術の研究・開発・運用によるエネルギー削減を推進し、環境性と経済性の両立を目指した事業活動により地球温暖化防止に貢献していきます。



ネットワーク部 ネットワーク設備部門長 相浦 司